



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 河内 正美 (TEL) 0277-54-7101  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,193	7.8	500	79.6	538	435.2	343	329.1
29年3月期第1四半期	9,451	△0.7	278	△6.0	100	△43.7	80	△17.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 178百万円( -%) 29年3月期第1四半期 △485百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	22.96	—
29年3月期第1四半期	5.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	41,125	16,345	38.9	1,069.62
29年3月期	41,197	16,316	38.8	1,067.65

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 16,016百万円 29年3月期 15,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期(予想)配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	0.9	500	△18.2	500	45.1	350	141.2	23.37
通期	37,200	△1.7	800	△17.7	780	△11.5	490	△16.9	32.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	15,533,232株	29年3月期	15,533,232株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	559,437株	29年3月期	559,337株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	14,973,870株	29年3月期1Q	14,974,525株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調が続いております。

世界経済につきましては、米国の景気は好調な雇用情勢等により回復が続き、欧州の景気も緩やかに回復し、中国を含めた新興国においても緩やかな景気の回復が継続しており、総じて堅調に推移しました。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、10,193百万円と前年同期と比べ741百万円の増加(前年同期比7.8%増)となりました。営業利益は500百万円と前年同期と比べ221百万円の増加(前年同期比79.6%増)、経常利益は538百万円と前年同期と比べ438百万円の増加(前年同期比435.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は343百万円と前年同期と比べ263百万円の増加(前年同期比329.1%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、ブラジル子会社の事業縮小による減少要因はありましたが、当社の受注増加や米国子会社における新製品立ち上げ等により販売は増加となりました。

その結果、売上高は7,246百万円と前年同期と比べ215百万円の増加(前年同期比3.1%増)となり、セグメント利益は358百万円と前年同期と比べ120百万円の増加(前年同期比50.4%増)となりました。

#### ② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、OA、印刷・製本業界向け等の販売は減少となりましたが、モーター、変・減速機、昇降・運搬、金属工作・加工業界向け等の販売は増加となりました。

その結果、売上高は2,617百万円と前年同期と比べ423百万円の増加(前年同期比19.3%増)となり、セグメント利益は23百万円と前年同期と比べ32百万円の増加(前年同期は9百万円のセグメント損失)となりました。

#### ③ その他

その他では、売上高が328百万円と前年同期と比べ102百万円の増加(前年同期比45.4%増)となりました。セグメント利益は34百万円と前年同期と比べ33百万円の増加(前年同期は1百万円のセグメント利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、受取手形及び売掛金の増加等により27,865百万円(前期末比57百万円増)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の減少等により13,259百万円(前期末比129百万円減)となりました。その結果、資産合計は41,125百万円(前期末比72百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金の増加等により19,217百万円(前期末比189百万円増)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により5,561百万円(前期末比289百万円減)となりました。その結果、負債合計は24,779百万円(前期末比100百万円減)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により16,345百万円(前期末比28百万円増)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,782	7,381
受取手形及び売掛金	11,013	11,583
商品及び製品	3,026	2,772
仕掛品	3,040	3,201
原材料及び貯蔵品	2,070	2,020
繰延税金資産	284	321
その他	787	752
貸倒引当金	△197	△168
流動資産合計	27,807	27,865
固定資産		
有形固定資産	10,818	10,643
無形固定資産		
その他	330	322
無形固定資産合計	330	322
投資その他の資産	2,240	2,292
固定資産合計	13,389	13,259
資産合計	41,197	41,125
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,389	8,611
短期借入金	8,579	8,339
未払法人税等	188	258
賞与引当金	305	110
その他	1,565	1,896
流動負債合計	19,028	19,217
固定負債		
長期借入金	4,097	3,825
繰延税金負債	328	354
役員退職慰労引当金	663	661
関係会社整理損失引当金	87	83
退職給付に係る負債	86	91
資産除去債務	18	18
その他	570	526
固定負債合計	5,851	5,561
負債合計	24,880	24,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	12,090	12,284
自己株式	△348	△348
株主資本合計	15,445	15,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	719
為替換算調整勘定	△44	△303
退職給付に係る調整累計額	△56	△38
その他の包括利益累計額合計	541	376
非支配株主持分	329	329
純資産合計	16,316	16,345
負債純資産合計	41,197	41,125

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	9,451	10,193
売上原価	7,835	8,368
売上総利益	1,616	1,824
販売費及び一般管理費	1,337	1,324
営業利益	278	500
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	20	21
為替差益	—	32
不動産賃貸料	17	20
その他	33	21
営業外収益合計	78	99
営業外費用		
支払利息	44	43
手形売却損	1	1
租税公課	9	7
為替差損	179	—
その他	20	8
営業外費用合計	255	61
経常利益	100	538
特別損失		
減損損失	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	100	531
法人税、住民税及び事業税	97	220
法人税等調整額	△87	△46
法人税等合計	9	174
四半期純利益	91	356
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	80	343

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	91	356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	76
為替換算調整勘定	△524	△272
退職給付に係る調整額	19	17
その他の包括利益合計	△576	△177
四半期包括利益	△485	178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△473	179
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,031	2,194	9,225	225	9,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	1	13	—	13
計	7,043	2,195	9,239	225	9,465
セグメント利益又は損失(△)	238	△9	229	1	230

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	229
「その他」の区分の利益	1
内部取引消去	△15
棚卸資産の調整	60
減価償却費の調整	2
全社費用(注)	1
四半期連結損益計算書の営業利益	278

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,246	2,617	9,864	328	10,193
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	1	23	—	23
計	7,268	2,619	9,887	328	10,216
セグメント利益	358	23	382	34	416

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	382
「その他」の区分の利益	34
内部取引消去	△26
棚卸資産の調整	108
減価償却費の調整	2
全社費用(注)	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	500

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失につきましては、重要性が乏しいため記載を省略しております。